

# ULTIMATE-Subaru 進捗状況

ウェブサイト <https://ultimate.naoj.org/index.html>



ULTIMATE  
Subaru

## プロジェクト概要:

「すばる2」の主力装置の1つとして、近赤外線広視野観測装置を開発するプロジェクトです。地表層補償光学（GLAO）と組み合わせ、広視野（直径<math>20'</math>）かつ高解像度（半値幅~ $0".2$ ）の近赤外線観測機能を提供します。

## 開発の進捗状況:

- GLAOの基本設計を完了後、ハワイ観測所、東北大学、オーストラリア国立大学（ANU）の協力で、波面センサー、レーザー、リアルタイム制御系のプロトタイプ開発を行っている。
- 可変形副鏡については、製作が進んでいる。制御系ボード、機械系の製作が完了。光学系はシェル鏡の研磨を継続中。
- 2024年度にプロトタイプによる実証試験を完了後、2025年度半ばに最終設計審査を行い、GLAOの部品製作を開始する。
- WFI開発の大型科研費が採択された（特別推進研究「究極のすばる望遠鏡へ：広視野補償光学による近赤外深探査で解明する銀河宇宙史」、代表者：東北大 児玉忠恭）。2028年度の部分的ファーストライトに向けて開発を進める。



**SUPER-IRNET研究会**  
**7/23-36@別府温泉**

## サイエンスWGの活動状況:

- サイエンスチームは、主に国内の研究者を中心に活動しています。宇宙望遠鏡にはない多彩なフィルター群の活用、地上望遠鏡のメリットを活かした時間軸観測を念頭に、遠方宇宙から銀河系内のサイエンスを幅広くカバーして検討を進めています。広視野カメラ(WFI)開発の科研費採択を受け、2024年度からは国内外でのプロモーションをさらに加速していきます。
- 2021年度からスタートした学振・研究拠点形成事業(通称SUPER-IRNET)は4年目に入ります。**7月23~26日には大分県別府市でワークショップ**を開催しますので、光赤天連の皆様には奮ってご参加をお願い申し上げます。(これまでの活動への参加によらずワークショップにはご参加いただけます。)

Organizing Committee:  
Michitoshi Yoshida (NAOJ) Yuseli Koyama (Subaru Telescope)  
Julie McEnery (NASA) Takahiro Sumi (Osaka Univ)  
Céline D'Argenville (ANU) Toru Yamada (ISAS/JAXA)  
Philippe Laudat (CNES) Masamune Oguri (Chiba Univ)  
Shiang-Yu Wang (ASIAA) Yosuke Minowa (Subaru Telescope)  
Takashi Moriya (NAOJ) Kentaro Motobara (NAOJ)  
Hiromasu Miyatake (Nagoya Univ) Mihoko Konishi (Oita Univ)  
Daisuke Suzuki (Osaka Univ)